



本誌は、筑波大学芸術専門学群芸術学専攻芸術支援コース、筑波大学大学院人間総合科学研究科博士前期課程芸術専攻芸術支援領域、博士後期課程芸術専攻芸術学領域における教育の一環として発刊するものです。

「特別寄稿」は、芸術支援の現場で活動する卒業生からの報告です。川口市立アートギャラリー・アトリア 学芸員の秋田美緒さんが取り組む、同ギャラリーでの教育活動について伝えてくれます。

「芸術支援フロンティア」と「つくばアートフ

ールド」は、学群の芸術支援コース専門科目「芸術支援学IIC」(授業担当:直江俊雄)の一環として、学生たちが取材した記事をまとめたものです。前者は現代社会における様々な芸術支援の様相を伝え、後者は筑波大学で今育ちつつあるアーティストを紹介しします。

「研究ノート」では、学群4年生、博士前期課程・後期課程の大学院生がそれぞれの研究で取り組んでいるテーマを紹介しします。

学生の取材・執筆に当たり、多くの皆様にご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

岡崎昭夫 齊藤泰嘉 直江俊雄

特別寄稿

1

アーティスト・イン・スクール
心の根っこを育むアート×教育の可能性

秋田 美緒 AKITA Mio

P.03 ▶ P.06

2 芸術支援フロンティア

- P.07 芸術支援のカタチを探る
- ▼ P.08 高木 諒一
- P.09 poco.a.poco
- ▼ P.10 美容室 × アート
- 松尾 寛子
- P.11 お祭りの中のアート
- ▼ P.12 大原美術館チルドレンズ・アート・ミュージアム
- 井上 祐里

3 つくばアートフィールド Artist × Writer

- P.13 わたしのいいなあを、みんなのいいなあに
- ▼ P.14 A 内 奈都美 × W 辻 真理子
- P.15 記憶を、拾い上げる
- ▼ P.16 A 山越 梓 × W 大政 愛
- P.17 Natunatuna
- ▼ P.18 「観た人のもの」になる絵をめざして
- A 猿田 なつ奈 × W 岡野 恵未子
(natunatuna)
- P.19 書の面白いところ教えてください！
- ▼ P.20 A 斎藤 太一 × W 三石 友貴
- P.21 エンターテイメントへの恩返し
- ▼ P.22 信頼で築いていくデザインの行先
- A 青木 風人 × W 角田 真季
- P.23 うつわが織りなす物語
- ▼ P.24 A 福山 菜穂子 × W 箕輪 佳奈恵
- P.25 映像って、嘘じゃん！
- ▼ P.26 A 原口 寛子 × W 池田 寛子

4 研究ノート

芸術専門学群芸術学専攻芸術支援コース4年

- P.27 高松市美術館の活動の特色とアートプロジェクト
- 宇川 亜澄
- P.28 1980年代後半のバブル経済期を中心とした日本の美術市場
- 金沢 みなみ
- P.29 筑波大学芸術系アトリソース活用に関する考察
- 教育普及活動を中心に
- 辻 真理子

- P.30 石田徹也の作品鑑賞について
- 橋本 亜由美
- 博士前期課程芸術専攻芸術支援領域1年
- P.31 ファッションの展覧会における美術館教育
- ワークショップ事例を中心に
- 川村 晃子
- P.32 アートプロジェクトにおける主体とそのコーディネイト機能
- 高橋 りほ
- P.33 エルマン・デルスニスと黒田鵬心の芸術支援活動
- 「仏蘭西現代美術展覧会」開催を中心に
- 中川 三千代
- 博士前期課程芸術専攻芸術支援領域2年
- P.34 高等学校美術科教師による授業の構想と実践
- 輿水 愛子
- P.35 アーティスト・ランで運営されるオルタナティブ・スペースの可能性
- 水戸のキワマリ荘の事例を通して
- 寺門 陽平
- P.36 アートマップ制作による地域アートの発掘
- 「大森アートマップ」制作を事例として
- 鳥山 裕加
- 博士後期課程芸術専攻芸術学領域1年
- P.37 美術鑑賞教育における「活用型学力」とその周辺
- 佐藤 絵里子
- 博士後期課程芸術専攻芸術学領域2年
- P.38 《隅田川妖怪絵巻》雑感
- 実践と研究が出会うとき
- 市川 寛也